

# 議決事項第2号

3/3定例教育委員会  
教育研究所①

## 奈良県校長の資質向上に関する指標

区分	項目	指標		
基礎的 素養	法令遵守 人権感覚	高いコンプライアンス意識と鋭い人権感覚を有し、人権尊重の視点に立った学校づくりに向けて、誠実かつ公正に職務に当たっている。		
	決断力 発信力	豊かな経験に基づいて的確に判断し迅速に決断する力を有し、教職員・児童生徒・保護者等に対して明確な意思や説得力のあるビジョンを発信している。		
	情熱 責任感	児童生徒への深い愛情と教職への誇りをもって教育に当たるとともに、強い使命感と責任感をもって学校運営に当たっている。		
	自己教育力 探究心	社会の動向や新しい教育課題を把握し、幅広い視野で学校経営や児童生徒の育成が行えるよう、研修や情報収集に積極的・継続的に取り組んでいる。		
資質・能力	（つくる） 組織 マ ネ ジ メ ン ト す	ビジョンと 目標の具現化	第2期奈良県教育振興大綱をはじめ、国や県、市町村の教育施策を理解した上で、自校の教育目標を設定し、その具現化に向け目標の共有と教職員間の連携を図りながら組織的に取り組んでいる。	
			多様な教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、全ての児童生徒が尊重される学校づくりに取り組んでいる。	
			学校評価の結果を踏まえ、教育活動や学校運営の状況を把握し、学校運営の改善と発展に取り組んでいる。	
	（めぐる） 教育課程と 授業の改善		自校の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、「学ぶ力」と「生きる力」を育むための教育課程を編成している。	
			各教員に児童生徒の情報活用能力育成の必要性を理解させ、教員のICT活用指導力の向上及び自校の教育の情報化を計画的・組織的に推進している。	
			児童生徒と向き合ったり教材研究を行ったりする環境を整え、各教員のキャリアステージに応じて、授業改善等について適切な指導・助言を行っている。	
	（育む） 人材育成と 人事評価		質の高い教育を児童生徒に提供できるよう校内研修の推進を図るとともに、教科等研究会等の活動に積極的に関わるなど、県や郡市での教育研究活動の推進に寄与している。	
			教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年、教科等によるOJTを推進するとともに、キャリアステージに応じた外部での研修（Off-JT）を促し、「学び続ける」教職員を育成している。	
			人事評価制度の意義を理解するとともに、「資質向上に関する指標」を活用して教職員に具体的な指導・助言等を行い、資質・能力の向上を図っている。	
	（つなぐ） 信頼構築	職場・職業倫理		日常のコミュニケーションを通して信頼関係を築くとともに、メンタルヘルス不調の予防及び速やかな初期対応並びにハラスメントの防止に努め、風通しがよく働きやすい職場づくりを行っている。
				ワーク・ライフ・バランスの考え方にに基づき、教職員が心身ともに健康で誇りとやりがいをもって働くことができるよう、勤務時間等の管理を適正に行うなど、業務の改善や働き方の見直しを行っている。
		家庭・地域・ 関係機関との連携	危機管理	
	日常の学校における安全管理及び保健管理に努めるとともに、災害や想定外の事態に備えて「危機管理マニュアル」の整備と周知を行い、組織的に対応ができる体制を整えている。また、危機発生時には関係機関と連携し、迅速かつ的確な指示をすることができる。			
			学校事務職員等と連携し、予算執行、施設管理、文書管理及びセキュリティ管理等を適切に行っている。	
			家庭や地域・関係機関等に学校の方針や運営状況等を分かりやすく伝え、学校経営目標を共有し、「地域と共にある学校づくり」を推進している。	
			教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整を行いながら学校の課題解決につなげている。	

奈良県副校長・教頭の資質向上に関する指標

区分	項目	指標	
基礎的素養	法令遵守 人権感覚	高いコンプライアンス意識と鋭い人権感覚を有し、人権尊重の視点に立った学校づくりに向けて、誠実かつ公正に職務に当たっている。	
	判断力 コミュニケーション力	豊かな経験に基づいて的確に判断し迅速に対応する力を有し、教職員・児童生徒・保護者等に対して学校における教育活動や取組を丁寧に説明している。	
	情熱 責任感	児童生徒への深い愛情と教職への誇りをもって教育に当たるとともに、校長を補佐し、強い使命感と責任感をもって学校運営に当たっている。	
	自己教育力 探究心	社会の動向や新しい教育課題を把握し、幅広い視野で学校運営や児童生徒の育成が行えるよう、研修や情報収集に積極的・継続的に取り組んでいる。	
資質・能力	組織マネジメント (つくる・生み出す)	ビジョンと 目標の具現化	第2期奈良県教育振興大綱をはじめ、国や県、市町村の教育施策を理解した上で、校長を補佐し、自校の教育目標の共有とその具現化に向けた取組を教職員と連携を図りながら推進している。
			多様な教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、全ての児童生徒が尊重される学校づくりに取り組んでいる。
			学校評価の結果を整理・分析して、教育活動や学校運営の状況把握を行い、校長を補佐して学校運営の改善と発展への取組を提案・実践している。
		教育課程と 授業の改善	自校の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、「学ぶ力」と「生きる力」を育むための教育課程の実施に向けて組織的な取組を推進している。
		各教員に児童生徒の情報活用能力育成の必要性を理解させ、教員のICT活用指導力の向上及び自校の教育の情報化を計画的・組織的に推進している。	
		児童生徒と向き合ったり教材研究を行ったりする環境を整え、各教員のキャリアステージに応じて、授業改善等について適切な指導・助言を行っている。	
		自校の教育目標達成のために、関係機関等との連携を図り、質の高い教育を児童生徒に提供できるよう組織的な校内研究体制を構築するとともに、効果的な校内研修の推進を図っている。	
	人材育成 (そだてる)	人材育成と 人事評価	教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年、教科等によるOJTを企画・推進するとともに、キャリアステージに応じた外部での研修(Off-JT)を促し、「学び続ける」教職員を育成している。
			人事評価制度の意義を理解するとともに、「資質向上に関する指標」を活用して教職員に具体的な指導・助言等を行い、資質・能力の向上を図っている。
	信頼構築 (つなぐ)	職場・職業倫理	日常のコミュニケーションを通して信頼関係を築くとともに、メンタルヘルス不調の予防及び速やかな初期対応並びにハラスメントの防止に努め、風通しがよく働きやすい職場づくりを行っている。
			教職員一人一人の勤務実態等を常に把握し、教職員が心身ともに健康で誇りとやりがいをもって働くことができるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた指導・助言、連絡調整を行っている。
		危機管理	児童・生徒一人一人の問題行動や不登校等の状況把握を的確に行い、校長の対応方針に基づき、生徒指導上の諸課題に対して校内組織を機能させ適切な対応をしている。
日常の学校における安全管理及び保健管理を的確に行うとともに、「危機管理マニュアル」の不断の見直しと周知を行い、組織的対応ができる体制を整えている。また、危機発生時には速やかに状況を把握し、校長の方針に基づき迅速かつ的確な対応をすることができる。			
家庭・地域・ 関係機関との連携		校長を補佐し、学校事務職員等と連携して、予算執行、施設管理、文書管理及びセキュリティ管理等を適切に行っている。	
		家庭や地域・関係機関等に学校の教育内容や方針等を分かりやすく伝え、連携・協力を得ながらつながりを深め、「地域と共にある学校づくり」を推進している。	
		校長の経営方針の下、教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整を行いながら学校の課題解決につなげている。	

奈良県の目指す教育	基本理念	本人のための教育 一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ	奈良県教育振興大綱
	施策体系のテーマ	こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ 働く意欲と働く力をはぐくむ	奈良の学び推進プラン

教員志望の 高校生段階	教員養成段階	スタート時
	コミュニケーション力「多様な理解（人間関係能力）」人となりが	コミュニケーション力「多様な理解（人間関係能力）」人となりが
情熱・人間性「自尊感情（自己理解能力）」自分となりが	情熱・人間性「自尊感情（自己理解能力）」自分となりが	情熱・人間性「自尊感情（自己理解能力）」自分となりが
	情熱・人間性「自尊感情（自己理解能力）」自分となりが	情熱・人間性「自尊感情（自己理解能力）」自分となりが
教育観「学ぶ楽しさを教える楽しさ（専門的知識）」学びとなりが	教育観「学ぶ楽しさを教える楽しさ（専門的知識）」学びとなりが	教育観「学ぶ楽しさを教える楽しさ（専門的知識）」学びとなりが
	教育観「学ぶ楽しさを教える楽しさ（専門的知識）」学びとなりが	教育観「学ぶ楽しさを教える楽しさ（専門的知識）」学びとなりが

分野	項目	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
教員としての素養	人間力	豊かな人間性や社会性、教養等を有し、良好な人間関係を構築する力を備えている	状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている	法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観や豊かな人権感覚を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	
	情熱	愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている	教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている	児童生徒の学びが意欲や自己肯定感を高めるため、教員として常に学び続ける向上心を有している	
授業力	構想	目標と指導と評価が整合した授業の計画を立案できる	児童生徒の興味・関心や知識・技能の実態を把握できる	児童生徒の学習に対する「つまずき」や課題に応じて、指導方法に工夫を取り入れることができる	目標と指導と評価が一体化した授業及び年間の計画を立案できる
	実践	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践を目指すとともに、児童生徒に基礎的な知識・技能が定着する授業を実践できる	児童生徒に授業のねらいを示すことや振り返りを行うことが確実でき、できたことに対しては、褒めて認める声掛けができる	児童生徒に学ぶ意欲をもたせ、できないことをできるようにするための発問・指示、声掛け等ができる	主体的・対話的で深い学びを実現するために、言語活動を充実させる等の具体的な視点をもって授業実践を行うとともに、個に応じた指導等により、児童生徒に確かな学力を培う授業を実践できる
	評価・改善	目標に照らし合わせて自己の授業を評価し、指導技術等の改善に取り組むことができる	他の教員からの助言・支援を授業改善に生かすことができる	他の教員と互いの授業について協議し、授業改善に生かすことができる	児童生徒の学習意欲や目標達成度から適切に自己の授業を評価し、課題に対する解決方法を明確にして授業改善に取り組むことができる
	研究	自校での研究授業等に積極的に取り組むことができる	研究授業等の成果を自らの授業実践の在り方に生かすことができる	学習指導案の検討や教材開発、実践の記録等、自校での授業研究に積極的に取り組むことができる	自校の研究推進に主体的に参画するとともに、他の教員の授業研究に対して助言ができる
	情報活用	教材研究、評価、授業等において、自身がICTを活用することができる	授業等において情報活用の基盤となる知識や態度を育成し、児童生徒がICTを活用するための技能について指導ができる	児童生徒の情報活用能力を育成するために、適切かつ効果的にICTを活用するとともに、自己の実践を振り返り授業改善に取り組むことができる	教育における適切なICT活用について他の教員に指導・助言ができる
生徒指導力	実態把握	授業時間や休憩時間等のあらゆる場面において、児童生徒一人一人と積極的に向き合うことができる	児童生徒の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状の理解ができる	児童生徒一人一人の生活背景を踏まえた実態の把握ができる	児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認できる
	指導	問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象への対応ができる	児童生徒のよさを褒めて認めることで、自己肯定感を高めながら寄り添う指導ができる	問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、教育相談等を活用しながら事象への多様な対応ができる	児童生徒を肯定的に捉えることで、保護者に安心感を与えつつ、指導を進めることができる
	特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援	家庭環境を踏まえて、児童生徒の困り感やつまずき等の実態の把握ができる	他の教職員からの助言・支援を得て、個別の教育支援計画及び指導計画を作成し、指導・支援ができる	児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに対応した個別の教育支援計画及び指導計画の作成ができる	個別の教育支援計画及び指導計画に基づいた適切な指導・支援が示すとともに、他の教職員に助言ができる
	関係機関等との連携	必要に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談ができる			自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言ができる
マネジメント力	組織マネジメント（学級経営・学校運営）	児童生徒一人一人を生かす学級づくりができる	所属する学年、分掌等の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行できる	学校経営計画や学年の指導計画の下、状況に応じた学級経営ができる	他の教職員と協働し、学年・分掌経営等ができる
	カリキュラム・マネジメント	学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応できる	未然防止のための身の回りの安全点検が確実に行える	危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応できる	安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる
	危機管理	家庭に対して、学級の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる	家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した教育活動を推進することができる	家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した教育活動を推進することができる	家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の課題を解決するための手法を他の教職員に助言ができる
	家庭・地域等との連携・協働	組織の一員として、他の教職員と円滑に協働できる関係を築くことができる	他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	教職員間での相互理解に主体的に取り組み、支援者として他の教職員の資質向上に係る助言ができる
人材育成	組織の一員として、他の教職員と円滑に協働できる関係を築くことができる	他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	教職員間での相互理解に主体的に取り組み、支援者として他の教職員の資質向上に係る助言ができる	
職能成長	勤務時間を意識しながら業務を効率的に遂行し、健全なワークライフバランスを保つことができる			自らが率先してワークライフバランスを推進するとともに、他の教職員にも助言ができる	



奈良県の目指す教育	基本理念	本人のための教育 一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ		奈良県教育振興大綱
	施策体系のテーマ	こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ 働く意欲と働く力をはぐくむ	地域と協働して活躍する人を育てる 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	奈良の学び推進プラン

教員志望の 高校生段階	教員養成段階	スタート時
	<p>コミュニケーション力「多様性理解（人間関係能力）」人とつながる</p> <p>情熱・人間性「自尊感情（自己理解能力）」自分とつながる</p> <p>教育観「学ぶ楽しさを教える楽しさへ（専門的知識）」学びとつながる</p>	
<p>学校給食の管理を行う上での基本的な指導技術（発問、板書、ノート指導等）を身に付けている</p> <p>食に関する指導を行う上での基本的な指導技術（発問、板書、ノート指導等）を身に付けている</p> <p>学校給食の管理の基本的事項を身に付けている</p> <p>奈良県教育振興大綱、奈良県学校給食の指導方針、奈良県の教育課題等を理解している</p> <p>学習指導要領、基本的な法規を理解している</p> <p>基礎的な知識と技能を基に生徒指導に取り組むことができる</p> <p>生徒指導の意義や命を守る指導の重要性を理解し、児童生徒一人一人と向き合うことができる</p> <p>児童生徒に対して公平かつ共感的な態度で接することができる</p> <p>基礎的な知識と技能を基に食育の推進と学校給食の管理ができる</p> <p>組織の一員として果たすべき役割を自覚し、協働して様々な事案に対応することができる</p>		

分野	項目	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
教員等としての素養	人間力	豊かな人間性や社会性、教養等を有し、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている 法令や服務規程の遵守を徹底し、高い倫理観や豊かな人権感覚を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている			
	情熱	愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている 教員等としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている 児童生徒の学ぶ意欲や自己肯定感等を高めるため、教員等として常に学び続ける向上心を有している			
専門領域における指導力	栄養管理	・学校給食摂取基準について理解し、地場産物の活用に応じた献立作成ができる	・児童生徒の実態を把握し、適切な栄養管理や教育的配慮のある献立を作成することができる	・地域の実情等に十分配慮し、教科等と連携した魅力ある献立を作成することができる	・学校給食の献立作成や調理、配食に関し、地域の栄養教諭等の中心的な役割を果たすことができる
	衛生管理	・学校給食衛生管理基準について理解し、安全で安心な給食づくりができる	・学校給食衛生管理基準に基づき、調理従事者への衛生管理指導や施設設備の改善に取り組むことができる	・調理従事者や調理場などの衛生管理について、日常的に評価・改善に努めるとともに、適切な指導・助言ができる	・衛生管理に関して、常に新しい知識を習得し、地域の指導的役割を果たすことができる
	各教科等における食に関する指導	・学級担任や教科担任等と連携し、食育の視点を意識した食に関する指導の実践や資料提供ができる ・学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導ができる	・食育の視点について理解し、専門的な立場から担任と協働し、食に関する指導を実践することができる ・児童生徒の実態を把握し、栄養教諭の専門性を生かし、学級担任等と連携して食に関する指導ができる	・教科等のねらいを理解し、学習内容に食育の視点を位置づけ、意図的に指導することができる ・給食時の指導計画を示し、献立や使用されている食品を活用した効果的な指導を実践することができる	・食に関する指導の中心的な役割を担い、食育の充実に向け他の教職員に適切な助言ができる ・地域の食文化や地場産物等を理解し、学校給食の献立と食に関する指導を関連付けながら、地域の関係者と連携し取り組むことができる
	個別的な相談指導	・偏食、肥満・痩身、食物アレルギー等について理解し、他の教職員や保護者と連携して対応することができる	・専門職として身に付けた知識を生かし、学級担任や養護教諭、学校医等と連携しながら児童生徒の発達段階に応じた対応や相談指導を行うことができる	・個別的な相談指導に関する専門性を高め、効果的な個別指導を工夫・改善し、適切な対応ができる	・個別的な相談指導の具体的な方法について、他の教職員に指導・助言ができる
	連携・調整	・児童生徒の食生活等の実態を把握し、食に関する指導の全体計画や年間計画の作成に積極的に参画することができる	・学級担任等と連携を図り、専門的な立場で指導や資料提供をするなど、食に関する指導の拡充に努めることができる	・関係機関・団体と良好な関係を築き、食に関する指導の実践のためのコーディネーター的役割を担うことができる	・関係機関・団体との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の栄養教諭等に指導・助言ができる
	研究	・研修及び研究の意義を理解し、基礎的な知識・技能を学び給食管理や食育に生かすことができる	・学校給食や食育に関する情報を収集・分析し、実践や研究に積極的に取り組むことができる	・児童生徒の食をめぐる課題の解決や、自らの専門性を高めるための研究に取り組むことができる	・食をめぐる動向を把握し、必要となる専門性を更に追究するための研究に取り組むことができる
	情報活用	・学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを活用して情報の管理や発信をすることができる	・ICTを活用し、効率的な学校給食の管理と効果的な食に関する指導ができる	・自己の実践を振り返り、より効果的にICTを活用できるよう改善するとともに、食に関する指導における適切なICT活用について、他の教職員と協働して実践に取り組むことができる	・多様な視点でICTを活用し、自校の中核となって食育の実践に取り組むとともに、他の教職員及び他の栄養教諭等に自校の食に関する課題や改善策について指導・助言ができる
生徒指導力	実態把握	・食に関する指導の時間や休憩時間等のあらゆる場面において、児童生徒一人一人と積極的に向き合うことができる ・児童生徒の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状の理解ができる	・日々の観察を基に、児童生徒の行動の変化を細部まで見逃さず捉えることができる ・児童生徒一人一人の生活背景を踏まえた実態の把握ができる	・児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認できる ・児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有できる	・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いが適切にできる ・具体的指導例を伴って、他の教職員とともに対応方法等の活用ができる
	指導	・児童生徒のよさを褒めて認めるとともに、自己肯定感を高めながら寄り添う指導ができる	・児童生徒を肯定的に捉えることで、保護者に安心感を与えつつ、指導を進めることができる	・意図的に児童生徒のよさを引き出しながら、個や集団に応じた指導を進めることができる	・個や集団に応じた指導の在り方について他の教職員に対して的確に助言ができる
	特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援	・個別の教育支援計画及び指導計画を作成するための、支援ができる	・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに対応した個別の教育支援計画及び指導計画の作成への支援ができる	・他の教職員に専門的な視点に基づいた指導や支援のモデルを示すことができる	・特別支援教育の組織的な取組について、他の教職員に助言ができる
	関係機関等との連携	・必要に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談ができる	・他の教職員とともに、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との効果的な連携・協力を推進することができる		
マネジメント力	組織マネジメント（学校運営）	・栄養教諭の役割を理解し、食育と学校給食の管理の基本的な知識を的確に活用する事ができる	・学校教育目標を理解し、年間指導計画の下、状況に応じた食育や学校給食の管理・運営ができる	・食育の推進や学校給食運営に積極的に関わり、学校教育目標の具現に向け、工夫・改善することができる	・学校教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善の推進ができる
	カリキュラム・マネジメント	・所属する学年、分掌等の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行できる	・他の教職員と協働し、学年・分掌経営等ができる	・学年・分掌経営等に取り組むとともに、他の教職員に助言ができる	・組織的に学校改善を推進するための具体的な方法について、他の教職員に助言ができる
	危機管理（学校給食）	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応できる	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応できる	・危機の未然防止に率先して取り組むことができる	・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言ができる
	家庭・地域等との連携・協働	・家庭の協力のもと食育を効果的に進めることができる	・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した食育を推進することができる	・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、食に関する課題を解決するための手法を他の教職員に助言ができる	・食育に関する家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言ができる
人材育成 職能成長	組織の一員として、他の教職員と円滑に協働できる関係を築くことができる	・他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	・教職員間での相互理解に主体的に取り組む、支援者として他の教職員の資質向上に係る助言ができる	・人材育成やOJTに関する自校の課題解決に向けた取組を中心として推進するとともに、支援者として他の教職員の資質向上に係る指導・助言ができる	
	勤務時間を意識しながら業務を効率的に遂行し、健全なワークライフバランスを保つことができる	・自らが率先してワークライフバランスを推進するとともに、他の教職員にも助言ができる			

奈良県の目指す教育	基本理念	本人のための教育 一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ	奈良県教育振興大綱
	施策体系のテーマ	こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ 働く意欲と働く力をはぐくむ	地域と協働して活躍する人を育てる 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる 奈良の学び推進プラン

スタート時	分野	項目	基礎形成期 (主事)	基礎定着期 (主任主事)	伸長期 (主査)	充実期 (主任主査)	(事務リーダー)
<p>常に周知徹底を図り、業務改善の意欲をもち、自己の人間性を高めようとする。</p> <p>奈良県教育振興大綱、奈良県学校教育の指導方針、奈良県の教育課題等を理解している</p> <p>学習指導要領、基本的な法規を理解している</p>	<p>学校事務職員としての素養</p> <p>専門領域における業務遂行能力</p> <p>学校運営・マネジメント力</p>	人間力	豊かな人間性や社会性、教養等を有し、良好な人間関係を構築する力を備えている	状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外での協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている	法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観や豊かな人権感覚を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている		
		情熱	愛情をもって児童生徒に接し信頼関係を築いている	教職員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている	児童生徒の育ちを支援するため、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している		
		構想	・市町村立小中学校事務職員標準的職務内容一覧表に示された職務の内容を把握し、事務部長官計画を立案できる	・市町村立小中学校事務職員標準的職務内容一覧表に示された職務内容と教育活動を関連させて、事務部長官計画を立案できる	・自校の教育目標の達成に向けて、目標と実践と評価が一体化した事務部長官計画を立案できる	・自校の教育目標達成の観点から、多様な工夫を取り入れた事務部長官計画を立案し、他の分掌の経営計画と融合させて学校経営計画の構想等に対して助言ができる	・グループワーキングを総括し、業務を計画的・組織的に推進できる
		実践	・市町村立小中学校事務職員標準的職務内容一覧表に示された職務に関する業務に迅速・正確に取り組むことができる	・事務部長官計画に沿って、教職員と連携して業務を遂行できる	・事務部長官としてマネジメントの手法を取り入れて事務部長官計画を遂行できる	・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案できる	・グループワーキングの目指す目標を定めて意識の共有を図り、達成に向けてグループ内の事務職員を支援しリードすることができる
		評価・改善	・目標に照らし合わせて自己の業務を評価し、改善に取り組むことができる	・自己の業務の進捗状況や完成度から段階取りや手順を評価し、課題を明確にした上で、改善に取り組むことができる	・目標達成度から適切に学校事務を評価し、課題に対する解決方法を明確にして改善に取り組むことができる	・自校の課題への対応や事務部長官計画の達成の観点から学校事務を適切に評価し、率先して改善に取り組むことができる	・グループワーキングの在り方や課題解決に向けた研究に取り組むとともに、グループ内の事務職員に対して資質向上・研究推進に係る指導・助言ができる
		グループワーキング 共同学校事務室	・他の事務職員から学ぶことと意欲をもち、学んだことを日々の業務に生かすことができる	・自己の役割を理解し、他の事務職員と協働して取り組むことができる	・自ら役割を担いそれを的確に果たすとともに、積極的に他の事務職員の支援ができる	・事務リーダーを補佐し、業務改善・効率化及びOJTIによる人材育成を推進することができる	・業務の円滑な遂行のために、グループ内の学校の管理職及び教育委員会や関係機関等と連携を図ることができる
		研究	・研修及び研究の意義を理解して意欲的に取り組み、その成果を自己の業務実践に生かすことができる	・学校事務の効率化や業務改善等の研究に積極的に取り組むことができる	・自校の研究活動に参画し、学校事務と結び付けて研究推進に取り組むことができる	・今日的な教育の動向を把握し、学校事務と結び付けて必要となる専門性を追求するための研究に取り組むことができる	
		情報活用	・ICT活用についての知識・技能を身に付け、学校事務を遂行できる	・学校事務の効率化を図るために、ICTを活用した効果的な業務改善に取り組むことができる	・教職員が校内情報を共有するための環境を整備し、利活用を促進することができる	・ICTを活用した学校事務の強化に取り組むとともに、ホームページ等による学校情報の発信を推進することができる	
		企画運営調整 組織マネジメント	・自校の教育目標を理解し、児童生徒一人一人を大切にしたい学校づくりに取り組むことができる	・自校の教育目標の達成に向けて、積極的に学校運営に参画し、他の教職員と協働して取り組むことができる	・学校評価や監査結果等から自校の取組の成果と課題を検証し、他の教職員とともに学校の業務改善に取り組むことができる	・自校の教育目標の達成に向けて、学校組織マネジメントの手法を取り入れながら学校経営計画を推進するとともに、学校評価結果を反映させた学校改善の推進ができる	・グループ内の事務職員が、主体的に学校経営を考えた校内外で協働していくための支援ができる
		危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応できる	・危機管理の重要性や自己の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応できる	・安全点検の集約やマニュアル整備など、教職員の中心となって危機の未然防止に取り組むことができる	・自校の危機管理体制を常に点検することができる	・グループ内の学校の危機管理支援を行い、事象発生時には状況を的確に把握・分析して支援を行うことができる
		家庭・地域等との連携・協働	・学校間及び地域や関係機関等との連携の実態が把握できる	・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した活動を推進することができる	・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した活動の計画・推進ができる	・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりを行うとともに、学校を取り巻く資源を効果的に活用することができる	・グループワーキングをさらに進展させ活性化をリードする後進の育成ができる
		児童生徒理解 教育活動	・自校の教育目標と県及び市町村の教育目標との関連を理解するとともに、自校の教育活動の実態を把握できる	・自校の経営計画と事務部長官計画を関連させて事務部長官計画に取り組み、学校行事や教育活動を支援することができる	・各校内対策委員会等に参画して教育活動に対する理解を深め、課題に対する解決策を検討するとともに、教職員とともに課題解決に取り組むことができる	・学校の取り組むべき教育課題を明らかにし、目標達成のための効果的な手段を提案するなどして、組織的な取組の推進ができる	
		人材育成 職能成長	・組織の一員として、他の教職員と円滑に協働できる関係を築くことができる	・他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	・教職員間での相互理解に主体的に取り組む、支援者として他の教職員の資質向上に係る助言ができる	・人材育成やOJTIに関する課題解決に向けた取組を推進するとともに、支援者として他の教職員の資質向上に係る指導・助言ができる	
			・勤務時間を意識しながら業務を効率的に遂行し、健全なワークライフバランスを保つことができる		・自らが率先してワークライフバランスを推進するとともに、他の教職員にも助言ができる		

令和5年度 教員等研修計画(グランドデザイン)

奈良県の目指す教育「奈良県教育振興大綱」・「奈良の学び推進プラン」の実現を目指す研修の充実による教員等の資質・能力の向上

育成指標	基礎形成期 ○基礎的指導力の向上	基礎定着期 ○実践的指導力の向上	伸長期 ○総合的課題解決能力の向上	充実期 ○マネジメント力の向上
	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。	専門的な知識・技能や、新たな教育課題に対応する実践的指導力を身に付ける。	学校の課題解決を目指し、組織を活性化させたり企画力・実践力を発揮したりするなど、ミドルリーダーとして学校運営に積極的に参画する力を身に付ける。	教職経験で培った力を生かし、指導的立場としてリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支え続けたり、学校運営を推進したりする力を身に付ける。
法定研修及びキャリアステージに応じた研修 主に奈良県立教育研究所が行う研修	<div data-bbox="1189 589 1481 862" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>管理職等研修</b></p> <p>※管理職等として必要な資質・能力の向上を目指す研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任校長研修、新任副校長・新任教頭研修、校長研修、副校長・教頭研修</li> <li>・幼稚園経営研修、管理職「人権教育」研修</li> <li>・子どもの自殺予防研修 等</li> </ul> </div>			
	<div data-bbox="858 875 1481 1144" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>キャリアアップ研修</b></p> <p>※ミドルリーダーやベテラン教員等としての役割を理解し、職務の遂行に必要なマネジメント力等の伸長を目指す研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○セルフマネジメント</li> <li>○チームマネジメント</li> <li>○プランマネジメント</li> <li>○ネットワークマネジメント</li> </ul> <p>・教務、生徒指導、教育相談、校内研修(校内研究)、主査・主任主査等</p> <p>※奈良教育大学との連携による長期研修員派遣研修</p> </div>			
希望研修	<div data-bbox="240 1205 491 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>初期研修(2・3年目)</b></p> <p>※授業力、児童生徒理解力、専門的指導力向上に重点を置いた研修</p> <p>※大学との連携による若手教員同士の協働的な研修</p> <p><b>初任者研修</b></p> <p><b>新規採用者研修</b></p> <p>※実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付けるための研修</p> </div>			
	<div data-bbox="499 1151 938 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>中堅教諭等資質向上研修</b></p> <p>※中堅教員等としての必要な知識・技能の習得のための研修</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>《自己啓発研修》勤務実績7年～</p> <p>※専門性の向上、得意分野の伸長を目指す研修</p> <p>(勤務実績7年～10年まで、1年間の校内・自主研修、教科等研究会研修のいずれかを選択実施)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>《共通研修》勤務実績3年～</p> <p>情報教育・道徳教育・教育相談・人権教育など</p> <p>(勤務実績3年～10年まで、自身の課題に応じて何度でも選択受講可能)</p> </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">10年目以降に必修講座</p> </div>			
希望研修	<div data-bbox="240 1653 1481 1765" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●今日の課題等研修● 今日の教育課題等について、知識や理解を深め、課題解決のために必要な指導力や技能を身に付ける研修</p> <p>○これが聴きタイム研修: 研修講座の一部の講義を聴講する</p> </div>			
	<div data-bbox="240 1787 1481 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●教科等専門研修● 教科等について、専門的な知識や技能を習得し、実践的な指導力や課題解決能力等を高める研修</p> </div>			
	<div data-bbox="240 1877 1481 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ちょっと学びタイム研修● 放課後や夏期休業中に短時間でを行う研修</p> </div>			
奈良県立教育研究所 以外の研修	<div data-bbox="240 1966 1481 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●校内研修等支援● 学校又は市町村教育委員会等の要請により指導主事等を派遣して研修を実施・支援</p> </div>			
	<div data-bbox="240 2056 1481 2154" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●自己研修● 基礎定着期から充実期までの時期に、適宜、自主的に授業力や指導力等について行う研修(県・連携大学・県内市町村・教育委員会以外の組織・外部機関が実施する研修講座等)</p> </div>			

